

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

[平成28年7~9月期の景況/平成28年10~12月期の見通し]

宇部市内における中小企業の業況は、前期より回復傾向にある

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2016年7~9月期の実績と2016年10~12月の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から4.07%の上昇となった。業種別では製造業が前回の▲60.0%から▲37.5%へ飛躍的に回復し、建設業は▲3.3%から0.0%へ、卸売業は▲23.5%から▲15.8%、小売業は▲20.0%から▲10.0%へと回復し、サービス業においては21.74%から0.0%へと悪化するという結果となった。

来期の新規設備投資については、0.9%微減する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業と小売業で「従業員の確保難」、製造業と卸売業で『需要の停滞』が上位となった。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

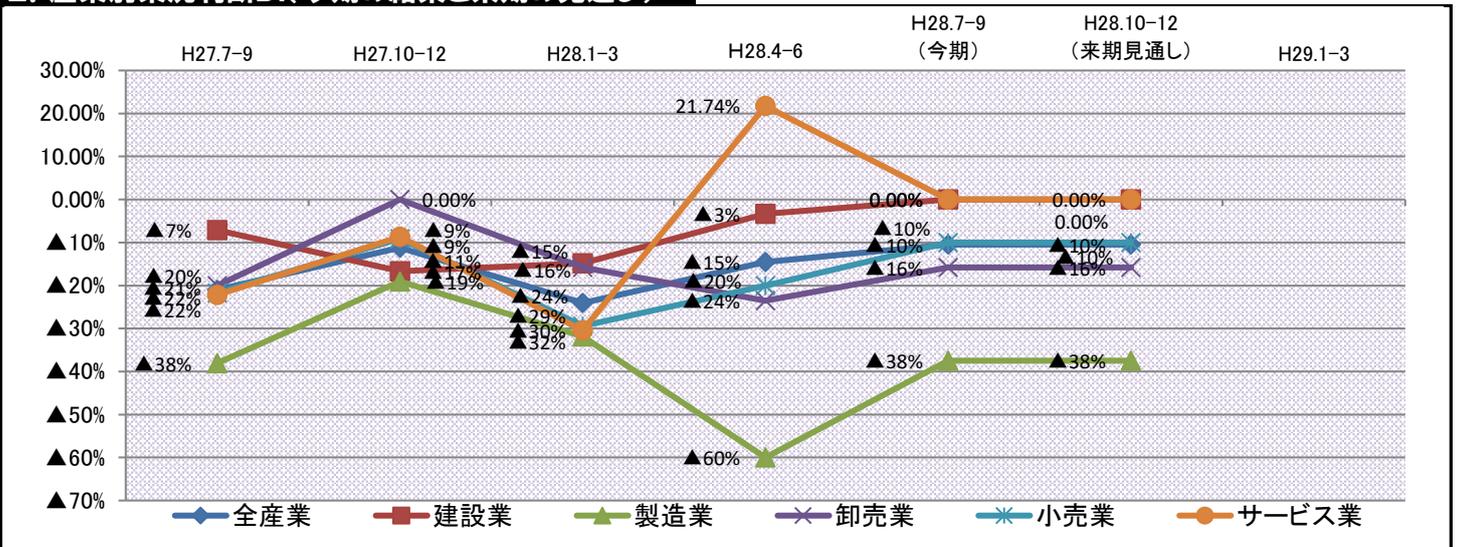
DATE

- 調査期間: 2016年8月23日~9月6日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業144社
- 有効回答企業数: 117社(81.25%)

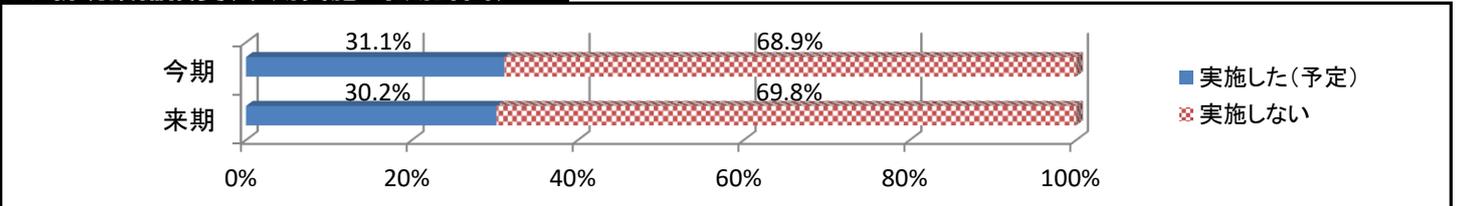
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲10.5%	4.07%	▲17.8%	▲3.3%	▲2.8%	▲0.1%	▲11.3%	5.80%	▲2.9%	▲4.7%
建設業	0.00%	3.33%	▲11.1%	5.56%	7.41%	▲2.6%	0.00%	▲6.7%	0.00%	▲3.4%
製造業	▲37.5%	22.50%	▲38.9%	6.11%	▲17.6%	2.35%	▲44.4%	35.56%	11.11%	6.11%
卸売業	▲15.8%	7.74%	▲26.3%	▲14.6%	5.26%	▲0.6%	▲5.3%	6.50%	▲5.3%	0.62%
小売業	▲10.0%	10.00%	▲15.0%	8.81%	▲15.0%	13.57%	▲10.0%	18.57%	▲11.1%	▲6.1%
サービス業	0.00%	▲21.7%	▲4.3%	▲26.1%	0.00%	▲13.0%	▲4.3%	▲17.4%	▲8.7%	▲17.4%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 21.4%	需要の停滞 26.0%	需要の停滞 18.4%	従業員の確保難 18.6%	利用者ニーズの変化への対応 14.8%
2位	熟練技術者の確保難 15.7%	製品(加工)単価の低下・上昇難 18.0%	販売単価の低下・上昇難 18.4%	需要の停滞 16.9%	人件費の増加 14.8%
3位	下請業者の確保難 15.7%	生産設備の不足・老朽化 12.0%	大企業の進出による競争の激化 12.2%	大型店・中型店の進出による競争の激化 11.9%	従業員の確保難 14.8%
4位	官公需要の停滞 12.9%	従業員の確保難 8.0%	人件費の増加 12.2%	販売単価の低下・上昇難 11.9%	新規参入業者の増加 11.5%